

さいたまけん すいどう しごと
埼玉県がおこなっている水道の仕事

みなさんが住んでいる埼玉県は昭和30年代以降、人口が急激に増加し、多くの家が建ちました。また、会社や工場など大きな建物もつぎつぎとでき、水道水がたくさん使われるようになりました。

そのころ、水道水は地下水をくみ上げて使っていましたが、たくさん使いすぎたため地盤沈下が発生しました。

そこで、地下水のくみ上げを少なくするため、埼玉県では昭和40年代から川の水をきれいにする浄水場を建設して水道水をつくり、みなさんのまちまで送る仕事をしています。

じょうすい
浄水場のあらし

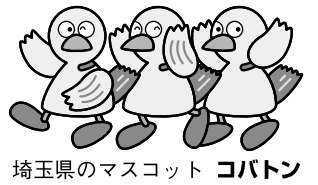
広 さ	307,000㎡	さいたまスーパーアリーナが7個はあります。
1日にできる飲み水の量	150,000㎥	25mプール(幅12m・深さ1m)の500杯分です。
1日に作っている飲み水の量	135,000㎥ ^(※)	25mプール(幅12m・深さ1m)の450杯分です。
1日に使う電気代	70万円 ^(※)	ふつうの家で払う電気代の約2,100軒分です。
1日に使う薬品代	33万円 ^(※)	25mプールの水をきれいにするのに薬代が約860円かかります。
水を送るための水道管の長さ	99km	よりい たまよどこ とうきょうわん 荒らかわ 寄居の玉淀湖から海(東京湾)までの荒川と同じくらいの長さです。

(※)は、平成30年度のものです。

見学記念スタンプ

ねん くみ な まえ
 年 組 名前

(令和元年5月)



見学のしおり

さいたまけんよし みじょうすいじょう
埼玉県吉見浄水場

川をきれいに！水を大切に！



埼玉県吉見浄水場

比企郡吉見町大字大和田198
 電話 0493(54)1484

水道の水ができるまで

浄水場は、川の水をきれいにして飲み水にするところです。

荒川から取り入れた水は、消毒液（塩素）や汚れをとる凝集剤（PAC：ポリ塩化アルミニウム）などの薬品が加えられ、沈でん池でにごりの固まりを沈めます。さらに、ろ過池の砂と砂利を通してきれいにし、最後にもう一度、塩素で消毒し、安心して飲める水になります。

